

## 【道徳の目標】

- (1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培います。
- (2) 豊かな心をはぐくみます。
- (3) 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成します。
- (4) 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成します。
- (5) 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成します。
- (6) 未来を拓く主体性のある日本人を育成します。
- (7) 道徳性を育成します。

## 道徳性とは

人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。また、人間らしいよさであり、道徳的諸価値が一人一人の内面において統合されたものです。さらに人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

## 【次のような内容を指導していきます】

## 1 主として自分自身に関すること。

- (1) 生活を振り返り、節度を守り節制に心掛ける。  
(7月 文部科学省「自分の一日は自分でつくる」)
- (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。  
(3月 教育TV「明日は晴舞台」)
- (3) 自由を大切にし、規律ある行動をする。(12月 教育TV「心の忘れ物」)
- (4) 誠実に、明るく楽しく生活する。(4月 教育TV「風太郎は旅芸人」)
- (5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。  
(2月 文部科学省「好奇心が出発点」)
- (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。  
(2月 教育TV「姉の選択」)

## 2 主として他の人とのかかわりに関すること。

- (1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。  
(6月 教育TV「花菜子七変化」)
- (2) だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする。  
(3月 東京書籍「天からのおそなえ」)
- (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。  
(7月 教育TV「言えないさよなら」)
- (4) 謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。  
(10月 東京書籍「銀のしょく台」)
- (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。(11月 教育TV「ガムランの響き」)

## 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。

- (1) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。(2月 東京書籍「かけがえのない地球」)
- (2) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。  
(6月 東京書籍「東京大空襲の中で」)
- (3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。

( 9月 教育TV「夕鶴伝説」)

4主として集団や社会とのかかわりに関すること。

( 1 ) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。

( 5月 教育TV「おまかせプレゼント」)

( 2 ) 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。

( 11月 文部科学省「ぐるりとまわりを見渡せば」)

( 3 ) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。( 10月 東京書籍「ぼくは後悔しない」)

( 4 ) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。( 1月 教育TV「一日座長」)

( 5 ) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。

( 6月 教育TV「あべこべ家族」)

( 6 ) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。

( 9月 教育TV「20年目のとまどい」)

( 7 ) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にしながら、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。( 11月 教育TV「故郷の風」)

( 8 ) 外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。( 11月 教育TV「人形は知っている」)

## 【道徳教育の評価について】

児童の道徳性については、反応や変容など、その実態を把握して指導に生かすように評価していきますが、数値による評価はおこないません。

道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で、動的、発展的に評価します。

道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。

家庭や地域社会とも連携をはかりながら、VTR・読み物資料・写真・教師による説話・体験活動などを取り入れながら多様な指導法を心がけます。